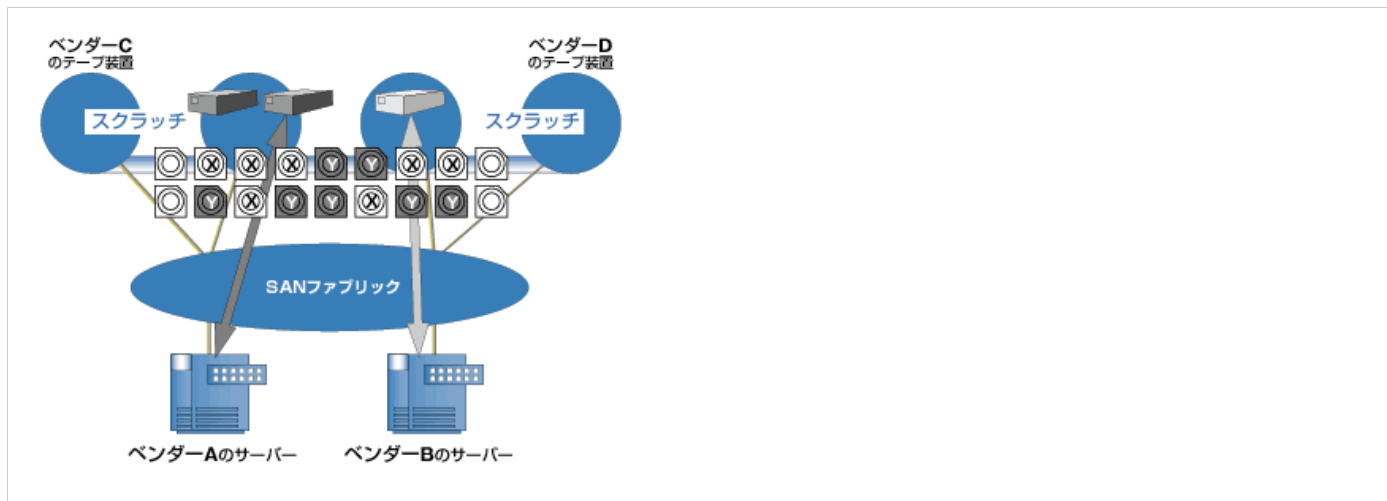


## テープ・プール



SAN環境では「テープ・プール」を定義することにより、同機種または異機種の複数のオープン系システムのサーバーが、自動テープ・ライブラリーなどのテープ・リソースを共用できます。SAN環境で、接続性の制約がなくなります。また、共用できれば、テープ・ハードウェア資産の利用率を高くすることができ、バックアップとリカバリーの効率を改善することになります。また、ファイバー・チャネルによって距離の制約をなくすことができ、従来以上に効率的なテープ・ポールド操作が可能になります。

テープ装置を利用している環境で、ある特定の時間を取り出してみると、多くの場合1つのシステムが特定のテープ・ドライブを占有しています。したがって、テープ・ドライブを共用で使用し、各サーバーごとに使用するカートリッジを管理するためには、単純にテープ・ドライブを接続するだけではダメで、テープ・ライブラリーのコントローラーとホストのオペレーティング・システムとアプリケーション・サーバーのいずれかに、管理を行うためのインテリジェンス機能が組み込まれている必要があります。